

令和7年度クリーニング師試験問題（学科試験）

三重県

問題は指示があるまで開いてはいけません。

【注意事項】

- 1 携帯電話等通信機器は、電源を切ってカバン等にしまってください。
- 2 この試験は、試験問題と解答用紙が別になっています。
解答は、必ず解答用紙へ記入してください。
- 3 解答用紙の所定の欄に、受験番号と氏名を忘れずに正しく記入してください。
- 4 試験問題は、全部で30問あり、解答時間は60分です。
- 5 解答は、番号を解答用紙の解答欄へ記入してください。
2つ以上記入すると無効となります。

【解答方法】

〔試験問題〕

問1 次のうち、三重県の県庁所在地として正しいものを1つ選びなさい。

- (1) 津市
- (2) 四日市市
- (3) 松阪市



〔解答用紙〕

問	解答欄
1	1
2	
3	

問	解答欄
11	
12	
13	

問	解答欄
21	
22	
23	

- 6 解答は、HB又はBの黒鉛筆を使用して記入し、書き損じたときは、消しゴムできれいに消してください。
- 7 試験問題については、持ち帰っても結構です。
- 8 問題の内容についての質問には一切お答えできません。
- 9 設問中、都道府県知事の権限に属する事項のうち、クリーニング業法第14条の規定により市長又は区長が行うものについては、「都道府県知事」を「市長又は区長」と読み替えるものとします。

衛生法規に関する知識

問1 次のクリーニング業法第1条に規定する目的に関する記述について、(ア)～(ウ)に当てはまる語句の組み合わせのうち、正しいものを1つ選びなさい。

この法律は、クリーニング業に対して、(ア)等の見地から必要な指導及び(イ)を行い、もつてその経営を公共の福祉に適合させるとともに、(ウ)の利益の擁護を図ることを目的とする。

	(ア)	(イ)	(ウ)
(1)	公衆衛生	検査	営業者
(2)	生活衛生	取締り	営業者
(3)	公衆衛生	取締り	利用者

問2 次のクリーニング業法第2条に規定する定義に関する記述について、(ア)～(ウ)に当てはまる語句の組み合わせのうち、正しいものを1つ選びなさい。

この法律で「クリーニング業」とは、(ア)を使用して、衣類その他の繊維製品又は皮革製品を(イ)洗たくすること（繊維製品を使用させるために貸与し、その使用済み後はこれを回収して洗たくし、さらにこれを貸与することを繰り返して行なうことを含む。）を(ウ)とすることをいう。

	(ア)	(イ)	(ウ)
(1)	溶剤又は洗剤	原型のまま	営業
(2)	溶剤又は洗剤	分解して	業務
(3)	洗たく機及び脱水機	原型のまま	営業

問3 次のクリーニング業法第3条に規定する営業者の衛生措置等に関する記述について、誤っているものを1つ選びなさい。

- (1) 洗濯物を洗濯又は仕上げを終わったものと終わらないものに区分しなければならない。
- (2) 営業者は、洗たく物の洗たくをするクリーニング所に、業務用の機械として、洗たく機及び乾燥機をそれぞれ少なくとも1台備えなければならない。
- (3) 営業者は、クリーニング所以外において、営業として洗たく物の処理を行い、又は行わせてはならない。

問4 次のうち、クリーニング業法施行規則第1条に規定する消毒を要する洗たく物として誤っているものを1つ選びなさい。ただし、洗たく物は伝染性の疾病にかかっている者が使用したものではなく、伝染性の疾病的病原体による汚染のおそれがないもので、いざれも営業者に引き渡される前に消毒されていないものとする。

- (1) 家庭から出された下着のパンツ
- (2) ホテルで使用されたシーツ
- (3) 診療所において療養のために使用された寝具

問5 次のクリーニング業法施行規則第1条の2に規定する苦情の申出先の明示に関する記述のうち、クリーニング所の店頭に掲示しておかなければならない事項として、誤っているものを1つ選びなさい。

- (1) 苦情の申出先となるクリーニング所の営業者の氏名
- (2) 苦情の申出先となるクリーニング所の名称
- (3) 苦情の申出先となるクリーニング所の電話番号

問6 次のクリーニング業法第5条に規定する営業者の届出に関する記述のうち、誤っているものを1つ選びなさい。

- (1) クリーニング所を開設したときは、10日以内に都道府県知事に届け出なければならない。
- (2) クリーニング所を廃止したときは、速やかに都道府県知事に届け出なければならない。
- (3) 届け出た事項に変更が生じたときは、速やかに都道府県知事に届け出なければならない。

問7 次のクリーニング業法におけるクリーニング師の免許についての記述のうち、誤っているものを1つ選びなさい。

- (1) クリーニング師の免許は、クリーニング師試験合格地の都道府県知事に申請する。
- (2) クリーニング師は、その本籍又は氏名を変更したときは、10日以内に、免許証の訂正の申請を免許を与えた都道府県知事にしなければならない。
- (3) クリーニング師が死亡したときは、戸籍法に規定する届出義務者は、1年以内に免許証を免許を与えた都道府県知事に返納しなければならない。

問8 次のクリーニング業法第11条に規定する営業停止処分等に関する記述について、(ア)～(ウ)に当てはまる語句の組み合わせのうち、正しいものを1つ選びなさい。

(ア)は、営業者がクリーニング業法第10条の2の規定による措置命令に従わないときは、期間を定めてその営業の停止又はクリーニング所の(イ)若しくは(ウ)のその営業のための使用の停止を命ずることができる。

	(ア)	(イ)	(ウ)
(1)	厚生労働大臣	閉鎖	業務用の車両
(2)	都道府県知事	停止	業務用の機械
(3)	都道府県知事	閉鎖	業務用の車両

問9 次のクリーニング師および業務従事者に関する記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- (1) クリーニング所の業務に従事するクリーニング師は、都道府県知事が指定した研修を、業務に従事した後1年以内に受け、その後は5年を超えない期間ごとに受けなければならない。
- (2) 営業者は、クリーニング所（洗たく物の受取及び引渡のみを行うものを除く。）ごとに、1人以上のクリーニング師を置かなければならない。
- (3) 営業者は、クリーニング所の開設の日から1年以内に、業務従事者の数に3分の1を乗じて得た数の者を選び、その者に対して講習を受けさせなければならない。

問10 次のクリーニング業法第9条に規定する業務従事者の業務停止に関する記述について、(ア)～(ウ)に当てはまる語句の組み合わせのうち、正しいものを1つ選びなさい。

都道府県知事は、営業者又はその使用者で、洗濯物の(ア)又は受取及び引渡しの業務に従事するものが(イ)、その就業が(ウ)不適当と認められるときは、期間を定めてその業務を停止することができる。

	(ア)	(イ)	(ウ)
(1)	回収	伝染性の疾病にかかり	公衆衛生上
(2)	処理	伝染性の疾病にかかり	公衆衛生上
(3)	処理	苦情の申し出を受け	社会通念上

公衆衛生に関する知識

問11 次の我が国の令和6年（2024年）人口動態統計に関する記述について、誤っているものを1つ選びなさい。

- (1) 出生数は前年より減少し、調査開始以来最少となった。
- (2) 婚姻件数は、前年より増加した。
- (3) 死因順位第1位は、老衰である。

問12 次の健康の定義の記述について、()にあてはまる語句の組合せとして、正しいものを選びなさい。

WHO憲章では、「健康とは、(ア)、(イ)及び(ウ)に完全によい状態にあることであり、単に疾病又は病弱でないということではない。」と定義づけている。

	(ア)	(イ)	(ウ)
(1)	精神的	肉体的	経済的
(2)	社会的	文化的	肉体的
(3)	肉体的	精神的	社会的

問13 次のうち、重症熱性血小板減少症候群（SFTS）の病原体を媒介する生物として、最も適切なものを選びなさい。

- (1) 蚊
- (2) ハエ
- (3) マダニ

問14 次の標準営業約款制度（Sマーク制度）に関する記述のうち、誤っているものを1つ選びなさい。

- (1) Sマークの「S」は、Standard（安心）、Sanitation（清潔）、Safety（安全）の頭文字を取ったものである。
- (2) 標準営業約款制度に従って営業を行う営業者は、標準営業約款登録店である旨を表示する標識（Sマーク）と同約款の要旨を掲示する。
- (3) 現在、クリーニング業、理容業、美容業の3業種について設定されている。

問15 次の「クリーニング所における衛生管理要領（昭和57年3月31日環指第48号厚生省環境衛生局長通知）」の「第4 消毒」で規定する「指定洗濯物の一般的な消毒方法及び消毒効果を有する洗濯方法の概要」に関する記述のうち、誤っているものを1つ選びなさい。

- (1) 蒸気による消毒は、蒸気がま等を使用し、100°C以上の湿熱に5分間以上触れる。
- (2) 熱湯による消毒は、80°C以上の熱湯に10分間以上浸す。
- (3) 塩素剤による消毒は、さらし粉、次亜塩素酸ナトリウム等を使用し、その遊離塩素250 ppm以上の水溶液中に30°C以上で5分間以上浸す。

問16 次の労働安全衛生法に関する記述のうち、誤っているものを1つ選びなさい。

- (1) 労働安全衛生法は、労働災害防止のための「危害防止基準の確立」、「責任体制の明確化」、「自主的活動の促進」などの措置により働く人々が安全で健康に働く仕組みが定められた法律である。
- (2) 令和7年6月1日に改正労働安全衛生規則が施行され、熱中症の重篤化を防止するため、事業者に「体制整備」、「手順作成」、「関係者への周知」が義務付けられた。
- (3) 石油系溶剤を使用したドライクリーニングの業務を行う事業者は、発がん性を踏まえ、作業記録を作成し、30年間保存しなければならない。

問17 次の特別管理産業廃棄物に関する記述のうち、誤っているものを1つ選びなさい。

- (1) 特別管理産業廃棄物の処理を専門の処理業者に委託した場合、廃棄物の発生量にかかわらず、電子マニフェストを使用しなければならない。
- (2) 事業活動に伴って特別管理産業廃棄物を生ずる事業場を設置している事業者は、その事業場ごとに、特別管理産業廃棄物管理責任者を置かなければならない。
- (3) 特別管理産業廃棄物の保管場所には、ねずみが生息し、及び蚊、はえその他の害虫が発生しないようにしなければならない。

問18 次の生物のうち、主に衣類に被害を及ぼすものを1つ選びなさい。

- (1) コクゾウムシ
- (2) ヒメマルカツオブシムシ
- (3) ショウジョウバエ

問19 次の記述のうち、「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律」に基づきクリーニング所の営業者が行う「使用的合理化」の取組みとして、誤っているものを1つ選びなさい。

- (1) 利用者にハンガーの回収を呼び掛ける。
- (2) より厚い衣類用カバーに切り替える。
- (3) 年間のハンガーの購入量や使用量を記録する。

問20 次の建築基準法に基づく用途地域のうち、引火性のドライクリーニング溶剤を使用するクリーニング所の立地が一律に制限されていない地域として、正しいものを1つ選びなさい。

- (1) 第一種低層住居専用地域
- (2) 商業地域
- (3) 工業地域

洗たく物の処理に関する知識

問21 次の繊維に関する組み合せのうち、正しいものを1つ選びなさい。

- (1) 植物繊維 — 絹
- (2) 合成繊維 — アクリル
- (3) 再生繊維 — 綿

問22 次の繊維の収縮に関する記述のうち、誤っているものを1つ選びなさい。

- (1) 热収縮は、高温により繊維の分子構造が変化し、繊維に加えられていた張力が緩むことによって起こる。
- (2) フェルト化による収縮は、毛繊維特有の現象である。
- (3) 膨潤緻密化収縮は、ナイロンやポリエステルなどの合成繊維が水分を吸うことによって起こる。

問23 次のドライクリーニングに関する記述のうち、誤っているものを1つ選びなさい。

- (1) ドライクリーニングとは、水洗いに適さない衣料品を、水の代わりに有機溶剤を用いて洗浄する方法である。
- (2) ドライクリーニング中の再汚染の原因として、溶剤流量不足や蒸留量不足が挙げられる。
- (3) ドライクリーニングは、ポリ塩化ビニル製品の洗浄に適している。

問24 次のランドリーに関する記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。なお、ランドリーとは、水に耐久性のある衣料品などを、洗剤等を用いてドラム式洗濯機で温水洗いする洗濯方法をいう。

- (1) 過炭酸ナトリウムは緩やかに分解するので、生地を傷めることは少ない。
- (2) ランドリー用水は、硬度100 ppm以上、pH 9.0以上の水が適している。
- (3) 糊付けに使用する糊剤は、メタ珪酸ナトリウムが適している。

問25 次の特殊品クリーニングに関する記述のうち、誤っているものを1つ選びなさい。

- (1) 毛皮の保管温度は、30～40°Cが適している。
- (2) 皮革は、染色堅ろう度が弱く、クリーニングで脱色しやすい。
- (3) カーペットは、裏面のラテックス、ゴムなどの脆化に注意する。

問26 次のボタンに関する記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- (1) カゼインボタンは、ドライクリーニングや水洗いに適していない。
- (2) ナイロンボタンは、耐熱度が高くないため、アイロンは直接あてない。
- (3) ユリアボタンは、耐熱性が低いため、アイロンやプレスの仕上げで温度が高すぎると熱で融解することがある。

問27 次の繊維加工に関する組み合せのうち、誤っているものを1つ選びなさい。

- | | | |
|------------|---|----------------|
| (1) プリーツ加工 | — | 布に折り目をつける |
| (2) オパール加工 | — | 布地の薄い透かし模様をつくる |
| (3) 減量加工 | — | 絹様の光沢を付与する |

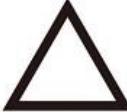
問28～30 次の日本産業規格 J I S L 0 0 0 1 (繊維製品の取扱いに関する表示記号及びその表示方法) の表示記号の意味として、正しいものを1つ選びなさい。

なお、令和6年8月20日から施行されている規格に基づき、回答を行うものとする。

問28

表示記号	表示記号の意味
	(1) 液温は、40°Cを限度とし、手洗いによる洗濯処理ができる。
	(2) 液温は、30°Cを限度とし、手洗いによる洗濯処理ができる。
	(3) 液温は、20°Cを限度とし、手洗いによる洗濯処理ができる。

問29

表示記号	表示記号の意味
	(1) 塩素系及び酸素系漂白剤による漂白処理ができる。
	(2) 酸素系漂白剤による漂白処理はできるが、塩素系漂白剤による漂白処理はできない。
	(3) 漂白処理はできない。

問30

表示記号	表示記号の意味
	(1) 底面温度210°Cを限度としてアイロン仕上げ処理ができる。
	(2) アイロン仕上げ処理はできない。
	(3) 底面温度120°Cを限度としてスチームなしでアイロン仕上げ処理ができる。スチームアイロンは不可逆的な損傷を引き起こす可能性がある。

令和7年度クリーニング師試験解答用紙
(学科試験)

三重県

受験番号	—
氏名	—

衛生法規に関する知識	
問	解答欄
1	3
2	1
3	2
4	2
5	1
6	1
7	3
8	3
9	2
10	2

公衆衛生に関する知識	
問	解答欄
11	3
12	3
13	3
14	3
15	1
16	3
17	1
18	2
19	2
20	3

洗たく物の処理に関する知識	
問	解答欄
21	2
22	3
23	3
24	1
25	1
26	2
27	3
28	2
29	1
30	3

※	※	※
採点	※	

注意 ※印の欄は記入しないでください。

令和7年度クリーニング師試験問題及び解答用紙
(繊維鑑別試験)

三重県

受験番号	—
氏名	—

(問題)

5種類の繊維の中から下記の繊維を選びその番号を記入してください。

(解答欄)

繊維名	番号
麻	2
綿	5
ナイロン	3
毛	1
絹	4

採点	※
----	---

注意 ※印の欄は記入しないでください。